



ともしび

— TO MO SI BI — 第237号

2016(平成28)年1月号

正月

あけましておめでとうございます。
二〇一六年の幕開けです。本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、新年を迎えると気持ちもリセットされて、今年はどんな年になるのかと心弾む思いがします。そのような思いの中で、今年一年を安心して過ごせるようにとか、仕事がうまくいくようになど、さまざまな願い事をするため、神社へ初詣に行かれる方もおられるでしょう。

お寺では「修正会(しゅしゅうえ)」または「元旦会」といって、元旦のお勤めをいたします。この起源は、中国の年始の儀式が日本に伝わったもので、前の年の悪を正して天下泰平を祈る法会として、奈良時代頃より寺院において行われてきたそうです。

修正会をお勤めする意味合いは、仏教でも各宗派によって違いがあります。浄土真宗の修正会や、僧侶・門徒としての元旦の迎え方は、次のようなお言葉がそれをよく表していると思います。

「道徳いくつになるぞ。
道徳、念仏申さるべし」

これは、本願寺第8代門主の蓮如(れんによ)上人のお言葉です。明応2(1492)年の正月に道徳さんという方が、蓮如上人に新年のご挨拶をしようと上人のもとへ伺ったところ、道徳さんの姿を見てこのように仰せられたのです。

当時、蓮如上人も道徳さんもかなりの高齢で、無事に新年を迎えられた喜びの思いから上人のもとへ行かれたのですが、道徳さんに対していくつになつたかを尋ねられ、お念仏することの大切さを説かれたのです。

浄土真宗の修正会では、初詣のように何か願い事を叶えることではありません。家内安全・商売繁盛・合格祈願などをお念仏申しながらお願いしたとしても利益になることはありません。むしろ、そのような自己中心的な考え方や、目先の幸せばかりにとらわれて右往左往している私たちに對して阿弥陀さまは、本当の願いに気づいてほしいと、お念仏となつてはたらいてくださるのです。

蓮如上人が、「念仏申さるべし」とお勧めされたように、浄土真宗の門徒として新年を迎えるにあたり、お手次のお寺、またはご自宅のお仏壇でお参りし、お経をいただき法話を聴聞して、今年もお念仏とともに聞法の生活を送っていかうと気持ちを新たにすることが何よりも大切なのです。

どうぞ、本年も皆さまと共に念仏薫る一年といたしましょう。



本年も皆さまのご参拝をお待ちしております。

仏事あれこれ

仏事のQ&A

Q. なぜ葬儀を行うのか？

A. 浄土真宗の葬儀は、阿弥陀仏の
大悲のはたらきを仰ぐことを中心に
行われます。

亡き人がどこへ行くのか、残された
遺族らが亡き人とどう関わるのか、と
いう両面から説明いたしました。ま
ず「亡き人はどうなるか」ですが、
亡き人は、阿弥陀さまの救いのはたら
きによって浄土に生まれ、仏となられ
ます。阿弥陀仏が阿弥陀仏たるゆえん
は、どんな境遇の者であっても、誰と
は問わず、必ず浄土に救いとして仏に
ならせることだからです。



亡き人の存在を「死」で終わらせる
のではなく、永遠のいのちを持った存
在として蘇らせるーその一大事業を
成し遂げられたのが阿弥陀さまなの
です。「浄土に往き生まれる」と、「死」
ではなく、「生」で表現されているこ
とに注目してください。その観点から
言うと、この世での出来事は「生前」
の出来事というわけです。

また、浄土に往生された亡き人はも
う二度と死ぬことのない生を賜りま
す。限りあるいのちから限りなきいの
ちの存在に生まれ変わられるのです。
それが仏に成るということです。

もう一面の「遺族の関わり」につい
ては、これも、阿弥陀さまの救いを信
じ、阿弥陀さまのお心を仰ぐことに尽
きます。

阿弥陀さまを仰ぐという共通項で、
亡き人と出遇い、心を通わせることが
できます。そして、寂しき、悲しみ、
悔しきの心を克服させてくださいま
す。また亡き人を仏として敬い、感謝
する心を育ててくださいます。

『新・仏事のイロハ』より抜粋

お知らせ

会館リーフレット完成！



これまで、会館
の紹介を手軽にで
きる物がなく制作

しておりましたが、この度ようやくリ
ーフレットが完成し、会報に同封させ
ていただきました。

より多くの皆さ
まにこのリーフレ
ットを手にとって
いただき、活用し
ただけると幸い
です。



平成28年の年回表

(ご法要のお申し込みをお忘れなく)

平成28年 年回表	
1周忌	平成27年
3回忌	平成26年
7回忌	平成22年
13回忌	平成16年
17回忌	平成12年
23回忌	平成6年
25回忌	平成4年
27回忌	平成2年
33回忌	昭和59年
50回忌	昭和42年

12月行事の様子

★キッズサンガ子ども会 12月6日(日) 10時～12時

寒空のもと6名の子ども達が集まり、おつとめ・法話の後、缶ぽっくりを作って遊び、美味しい焼き芋を食べました。

1.おつとめ



2.焼き芋の下準備



3.缶ぽっくり作り



4.焼き芋試食



↑ あったかくて
美味しいね(^-^)



↑ 缶ぽっくりに乗って決めポーズ!

★常例法座 12月13日(日) 13時～15時

お参りの皆さまと「正信偈」をお勤めし、ご講師・橋本正信師よりご法話をいただき、16名の方が参拝されました。



↑ ご講師・橋本正信師
ハワイ開教使の経験や、
東日本大震災の被災地
復興支援活動について
お話いただきました。



↑ 勤行 「正信偈六首引」



おまけ

↑ この度の先生のお話を受けて、防災意識を高めるため、防火訓練をしました。
注:決して遊びではありません(笑)

東久留米会館の 行事案内

—Schedule—

▶ 1月の行事予定

元旦会

2016年1月1日(金) 午前0時～

除夜会に引き続きお勤めいたします。
新年を仏さまとともに迎えましょう。

親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

1月16日(土) 午前7時～

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか？
お供物のおさがりをプレゼントいたします。

親鸞聖人御命日法座・新年会

1月16日(土) 午後1時～

ご講師 七里順量 師
(埼玉県 超光寺)

ご法話終了後、新年会を行います。
お楽しみ抽選会において、素敵な
景品が当たります。



▶ 2月の行事予定

常例法座

2月14日(日) 午後1時～

ご講師 熊原博文 師
(埼玉県 正善寺)

お気軽にお参りください。



お仏飯米のご進納

奥川眞三様 大関正夫様

その他ご進納

村中秀行様(リンゴ一箱)

ありがとうございました。

お晨朝お休みのお知らせ

1月4日(月)・5日(火)・6日(水)
3日間、お休みさせていただきます。

編集後記

先月長女(5才)が風邪を引き、一週間ほど寝込んだ挙げ句、完治したと思えば、今度は長男(6カ月)に伝染したようで、ひどく咳き込み、しばらく何度も病院に連れて行き大変でした。私とは言え、先日奥歯の詰め物が取れて歯医者通いの日々です:(安)

東久留米会館会報 「ともしび」
第237号

発行日 2016年1月1日

発行者 安邊 泰教

住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30
電話 042-474-6787